

「遠隔医療モデル参考書-オンライン診療版-」の概要

- オンライン診療の導入の事前検討を円滑かつ適切に行うために必要になる知識や情報、オンライン診療の実施の手順や利用するシステムの構築パターン等、医療機関等においてオンライン診療導入の際に参考となる情報を示したものである。

1. オンライン診療

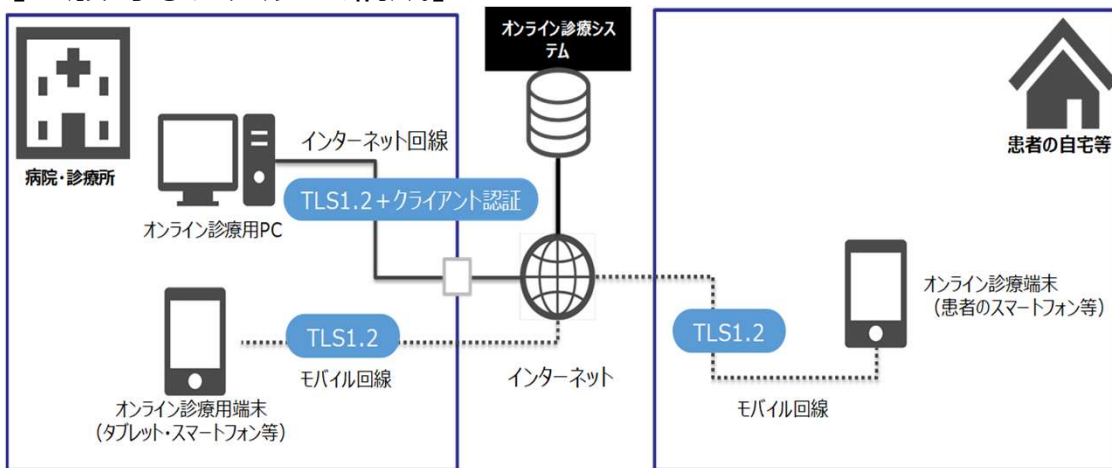
(1) オンライン診療とは

オンライン診療の概念、目的等を記載。

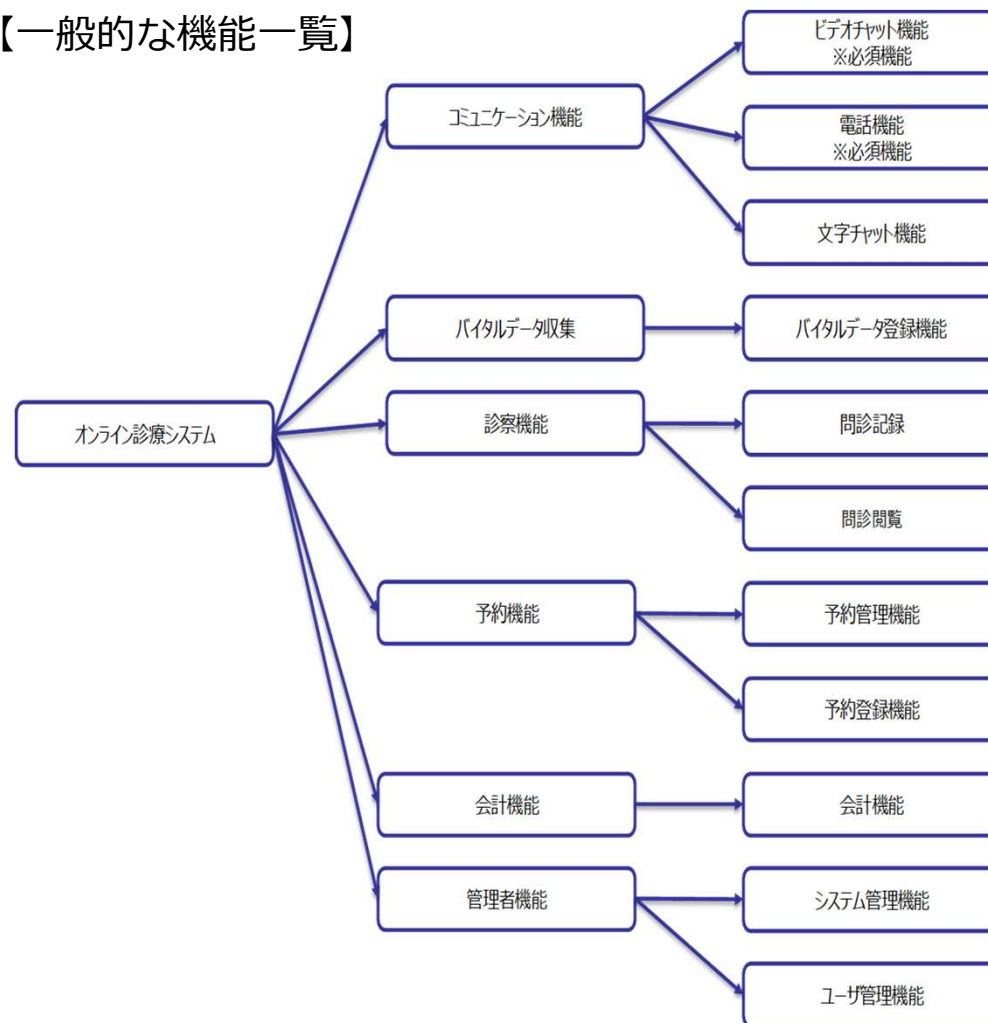
(2) オンライン診療システムの概要

オンライン診療システムのシステム構成や機能構成（機能の一覧やハードウェア・ネットワーク構成など）等を記載。

【一般的なシステム構成】



【一般的な機能一覧】



(3) 導入の手順

導入の手順として、

- ① 事前検討（導入判断）
- ② 組織立ち上げ（体制の整備）
- ③ 導入のための準備
- ④ 実施環境の構築
- ⑤ 実施手順の確認、を順を追って記載。

(4) 業務の流れ

オンライン診療を実施する際の業務の流れを、

- ① 一般的なモデル
 - ② 看護師等が患者を補助するモデル
 - ③ 遠隔服薬指導のモデル
- の3つのモデルについて記載。

(5) オンライン診療システムの構築パターン

- システムの構築パターンとして、
 - (i) 事業者が提供する専用システムの活用
 - (ii) 既存の汎用テレビ電話システムの活用
 - (iii) 新規にシステムを開発の3つについて記載。
- 併せて、費用の目安を記載。

(6) 留意事項

- 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の要点をわかりやすく示すとともに、適用される法令等や関係団体による各種手引き等を紹介。
- オンライン診療の運用にあたって検証すべき効果の項目等の例を記載。

2. オンライン診療の事例

ユースケース事例として、5事例を紹介

事例1：在宅患者を対象としたオンライン診療

事例2：糖尿病患者の治療からの脱落防止と治療と仕事の両立支援を目的としたオンライン診療

事例3：訪問看護師がサポートする地方部でのオンライン診療

事例4：離島において訪問看護師がバイタルデータを取得しつつ行うオンライン診療

事例5：全国の小児神経患者を対象にしたオンライン診療